

## 授業科目 救急蘇生法演習

【担当教員名】 月城 慶一、藤枝 温子		対象学年	3	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
	○		◎	○	
【概要・一般目標：G10】 一般市民が行うことのできる応急救護の概念を理解し、CPR（心肺蘇生法）とAED（自動体外式除細動器）を組み合わせた応急救護法を実施できる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>各疾患の救急対応法を理解できる。</li> <li>応急救護の概念や蘇生の連鎖、感染の予防について理解できる。</li> <li>気道、呼吸、循環の初期の評価について理解し、実施できる。</li> <li>気道の確保について理解し、実施できる。</li> <li>効果的なCPRを実施できる。</li> <li>病気やけがに応じた対処法を理解し、実施できる。</li> <li>AEDとその使用方法を理解し、CPRと組み合わせて実施できる。</li> <li>応急救護法が必要な現場に遭遇した場合の対処法を説明できる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				
2	スポーツ現場での救急対応			1	講義
3	精神科救急とその対応			1	講義
4	内科的救急対応 1			1	講義
5	内科的救急対応 2			1	講義
6	応急救護法とは			2	演習
7	蘇生の連鎖と感染の予防			2	演習
8	気道、呼吸、循環の初期の評価			3	演習
9	気道の確保			4	演習
10	CPR（心肺蘇生法）			5	演習
11	病気やけがに応じた対処法			6	演習
12	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護 1			7	演習
13	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護 2			7	演習
14	知識の確認			8	演習
15	まとめ			8	演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、授業態度、筆記試験で総合的に評価する。		【履修上の留意点】 演習は担当教員が受け持ちますが、座学は他学科の先生と外来講師にお願いするためスケジュールが変則的となる。 欠席が時間数の1/3を超えた場合、単位認定資格を失う。遅刻2回で1回の欠席とする。 1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点、最終評価から減点する。			